

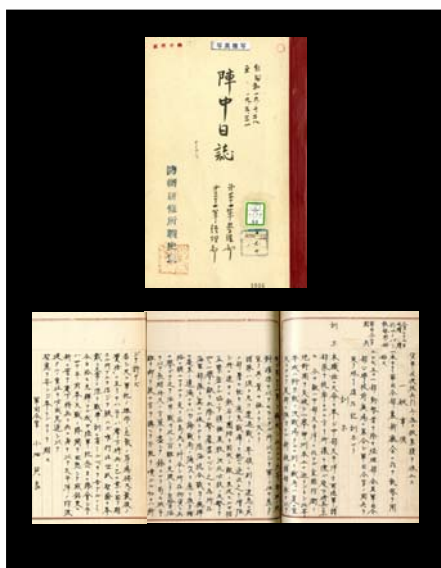
平成 25 年度は、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

おぼた ひでよし
《 小畑 英良 1890～1944年 》
—大阪府出身の陸軍大将—



御統監の御模様ニ就て（登録番号：中央-軍隊教育演習記事-348）

小畑英良大将は、明治 44 年 5 月、陸軍士官学校（23 期）を卒業後、第 3 航空軍司令官、第 31 軍司令官などの要職を歴任しました。この史料は、昭和 10 年陸軍特別大演習を開始するにあたって、当時参謀本部演習課長であった小畑大佐が、鹿児島統監部より放送した「大元帥陛下大演習御統監の御模様ニ就て」の要旨です。本演習は、「海軍特別演習ト連合シ上陸作戦ト之二対スル防衛作戦」、「陸海両正面ニ亘ル外線作戦ト（中略）内線作戦」を演練することを目的とし、11 月 9 日から 12 日まで、鹿児島、宮崎の両県で行われました。広大な地域に 2 個師団以上の部隊を動かすことから、統監部要員は 400 名以上、軍用電信電話の総延長は 1200 キロ以上にも達したことなど、当時の様子を伝えています（他に「昭和 10 年特別大演習写真帖」登録番号：中央-軍隊教育写真-23）。



第 31 軍参謀部・経理部陣中日誌（登録番号：中太-マリアナ-13）

昭和 19 年 2 月 25 日、中部太平洋方面に展開する陸軍部隊約 8 万名を統括する第 31 軍が編成され、小畑中将が軍司令官に任ぜられました。この史料には、サイパン島において指揮権を発動した小畑軍司令官の訓示が残されています。訓示では、「今や敵ハ中部太平洋ニ於ケル皇国防衛ノ絶対圏ヲ突破シ（中略）戦局ハ寔（まこと）ニ重大トナレリ」、「予ハ（中略）誓テ麾下将兵ト共ニ身ヲ以テ太平洋ノ防波堤」となり、米軍の進攻をこの第一線で阻止するという軍司令官の強い決意が述べられています。しかし米軍の圧倒的な戦力の前に、7 月 9 日サイパン島が陥落、グアム島に移って指揮を執っていた小畑軍司令官も、8 月 11 日、戦死しました（9 月 30 日大将へ進級）。中部太平洋方面の要衝を失った日本は、これ以降米軍の本格的な本土空襲を受けることとなります。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

- ※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
- ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>